

実践④

「主婦の目線でエシカル消費」

板野町ふるさと味づくり研究会
新名純子

令和元年七月



👑 エシカル消費

地域・環境への配慮

地元のために
地球のために

主婦の目線

地産地消
食品ロス削減

皆さん、今日は、町内で地産地消や食品ロス削減に取り組む女性グループ『板野町ふるさと味づくり研究会』の会長である「新名さん」のお話を聞いてみましょう。それでは、よろしくお願いします。

こんにちは、新名です。私たちは、結成から約30年、“味は変わらないのに、捨てられてしまうのはもったいない”という**主婦の目線**から、規格外品の野菜を使ったお菓子作りなどを行ってきました。また、最近では、“地元の新鮮で安心な野菜をもっと知って欲しい”という思いから、板野の野菜をたっぷり使ったお弁当にもチャレンジしています。お客さんだけでなく、農家の方からも喜んでもらえるので、やりがいを感じています。

私たちは2年前、板野町消費生活相談所の講座で初めて『エシカル消費』について話を聞いたのですが、★馴染みのある『もったいない』や『地産地消』を、『エシカル消費』って呼ぶようになったのかな？

★何かややこしいし、ほんな新しい言葉はいらんのちゃうん？…と、混乱しました。

けれど、“もったいないや地産地消はエシカル消費の1つなので、今までしてきたことを続ければ良いよ”と教えてもらい、その後も変わらず活動を続けていたところ、色々なエシカル消費を通じて、私たちのことを知って下さる方が増え、よりたくさんの方に主婦目線の思いを伝えることができるようになってきました。

私たちと同じように、エシカル消費という言葉を知って、混乱したり、難しく思う方も、自分目線の思いを持って、変わらず何かに配慮した取り組みを続けていってくださいね。

新名さん、ありがとうございました。なるほど、無理に新しいことを始めなくてもいいんですね。

来月も、エシカル消費を実践している方のお話を掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎672-5994

【ひとくちメモ】

※最近では少しずつですが、エシカル消費について、イベントが開催されたり、雑誌で取り上げられるようになってきました。

板野町ふるさと味づくり研究会の取り組み ☎672-5979

ふるさと味づくり研究会は、工房でお菓子やお弁当を作っている他、町民センターで親子を対象としたクッキング教室(ピザやクリスマスケーキ作り)を開催しています。

また、幼稚園の子ども達には、毎年ハロウィンのお菓子をプレゼントしたり、3番札所金泉寺では、お遍路さんのお接待(春にんじんの塩クッキー配布)もしています。



『親子クッキング教室』



『ハロウィンのプレゼント』



『金泉寺でお接待』

『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。

ある日の先生

頑張ってたったのにな…今まで通りでいいなんてね。ふうー、やっぱりいつも通りが一番や。

